

2012 年 11 月 15 日(木)

ちよだプラットフォームスクウェア

504 会議室

◆委員長：中澤信夫 副委員長：金子純代(議長) 事務：熊谷一樹 村井梨恵 書記：中山遼平

◆出席者(順不同)：児玉萬平 田代和史 斉藤威 古川龍文 稲葉健太 伊藝徳雄  
浅野英彦 室橋紅里子

◆開会 19:06

◆NYYC インビテーションナルカップ(中澤)

- ・ J-Sailing10月号で代表チーム募集の告知を行った。締切りは12月21日。
- ・ 現時点でエントリーチームなし。クルーとして乗艇希望の問い合わせがあった。
- ・ 複数チームからエントリーがあれば、当委員会で予選レースを開催する。

◆パシフィックキールボートチャレンジ2013

- ・ 現時点で海外エントリーが8枠残っている(全10チーム)。チャーター締切りは12月1日。  
(連絡役・中山)
- ・ JSAFから代表チームを派遣する。その場合、エントリーフィーはJSAF負担で渡航費等はクルー負担を予定している。
- ・ スキッパー候補をしぼり出場を打診中。その他出場希望者を募集中。
- ・ 2014年以降に向けて長いスパンで告知及びチーム強化を行い、国内セーラーのモチベーションを高めていく必要があるのではないか。例えば、葉山NSTでの練習会、選抜レース等。  
(伊藝)

◆ネーションズカップ2013

- ・ ファイナル(ISAFグレードI)が2013年8月6-10日に開催される。地域ごと予選レース(ISAFグレードII)があり、日本はオセアニア予選(日程・場所未定)に区分。オープンクラスと女子クラスがある。
- ・ スキッパーは各国協会からの推薦となり、非常に高レベルなマッチレースレガッタ。今年はいじめてJSAFに案内が届いた。前回までは各チームが独自に参加していた。(児玉)
- ・ JSAF代表チーム派遣を検討する。まずは情報収集を行う。(連絡担当・中山)
- ・ 資料を見ると日本はオセアニアに属しているが、アジアなのでアジアの区分へ変更できるか確認をする。(連絡担当：中山)

◆相模湾キールボートシリーズ

- 各団体と共催する上でレース運営の問題やスポンサーに対するリターン確保など、今後議論する必要がある。JSAF がバックにあることのメリットが少ない。来年の開催は未定。（稲葉）
- 表彰式を年末の「フィーリンオーシャン」（12月3日@恵比寿）で行う。オリンピックセーラーの招待など艇種や年齢の垣根なく楽しめる場にしたい。（伊藝）

◆学生マッチ 2013（田代）

- 12チーム、3日間（3月15-17日）、日産マリーナ東海で開催する。
- 出場枠は前年上位チーム、アニオールカップ優勝校、インカレ上位校、ホームポート公募、一般公募を用意。インビテーションリクエストは12月10日締切り。
- NORをJYMAホームページで公開中。
- バルクヘッドマガジンなどメディアで告知を行う。
- 一般公募が多ければ、MRを予選レースとしてはどうか。（中澤、伊藝）
- 当委員会に対し協力要請があった。内容は、①スポンサー（冠、キールボートチーム）確保の協力、②練習会の開催、③広報活動。できる範囲で協力していく。

◆その他報告事項

- 11月10日にアイルランドでISAF総会が開催された。IRC・ORCクラスの計測マターなど、ルール変更があった。（児玉）
- 11月5日に外洋総務委員会が開催された。議事録参照。次回の外洋合同委員会会議は2013年2月2日～3日に沖縄県宜野湾市で開催予定。参加希望者は連絡を下さい。（児玉）
- 11月10日にオリンピック特別委員及びジュニアユース育成・強化委員会が主催する「今後の選手強化のあるべき姿について」の意見交換会が開催された。活発な議論がなされ、JSAF NATIONALSの開催、諮問委員会の設置、プロコーチの招聘などが提案された。これまで以上の透明化を図るとのこと。次回交換会も予定している。（斎藤、中澤）
- 10月に香港及び中国・深圳市で開催されたチャイナカップに当委員会の斡旋でゲフィオンチーム、リソターダチームが出場した。欧米チームの参加が多く、大会の運営・競技・施設など非常にレベルが高かった。中日韓親善レガッタ、ルーシャンカップにも出場したターコイズチームがFE26クラスで3位入賞した。（中山）
- 新西宮ヨットハーバーのYAMAHA23譲渡に関し、JSAF加盟団体より受け入れの申し入れがあり、打診中。（中澤）

◆閉会 21:00

◆次回委員会の開催日：12月20日（木）PM7:00 DG fish & shellfish

<http://dg2.grandgreen.co.jp/>